

筑後川水系広川における事業性評価調査・事業者公募

1. 事業の目的

広川町の山間部を抱える上広川地区の振興を図り、再生可能エネルギーの活用を目指すため検討したところ、同地区3か所について水力発電の導入の可能性が考えられるため、本事業において小水力発電の事業性評価を行うとともに事業者の公募を行う。

2. 事業の内容

(1) 事業者名

福岡県広川町

(2) 事業名

筑後川水系広川における事業性評価調査・事業者公募

(3) 事業期間

平成 30 年 8 月 8 日 ~ 平成 31 年 2 月 25 日

(4) 調査を実施する発電設備の概要

地点① ダム上流地区

a. 発電形式 : 水路式

b. 使用水量 : 0.35m³/s

c. 有効落差 : 18.90m

d. 出力 : 45kW

地点②ダム放流口地区

a. 発電形式 : ダム式(従属)

b. 使用水量 : 0.44m³/s

c. 有効落差 : 16.20m

d. 出力 : 49kW

地点③梯地区

a. 発電形式 : 水路式

b. 使用水量 : 0.57m³/s

c. 有効落差 : 12.60m

d. 出力 : 49kW

3. 平成 30 年度の事業実施概要

- ① 流量調査: 広川の3箇所において、水位計設置、流量調査を行った。
- ② 地形測量: 広川の3箇所において、現地地形等の測量を行った。
- ③ 地質調査: 広川の3箇所において、地質調査(スウェーデン式サウンディング)を行った。
- ④ 概略設計: 広川の3箇所において、流量調査結果等を用いて流況解析し、発電所や水路等の配置計画を行った。
- ⑤ 概略可能性検討: 広川の3箇所において、発電量を推定し、現時点での採算性を検討した。

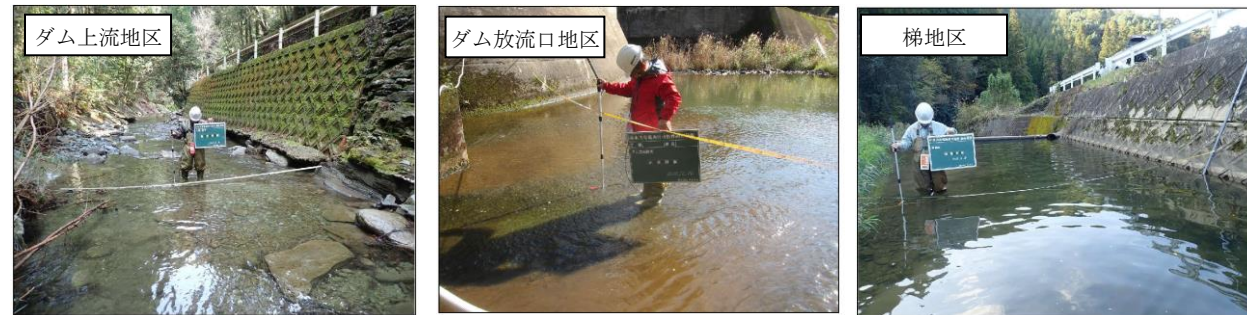


図. 流量調査状況



図. 箇所別取水予定地点および発電所予定地

4. 事業の成果等

測量成果、流量調査成果、地質調査成果、その他既存資料を基に、小水力発電事業化に向けた概略設計および概略可能性検討を行った。



図. 計画平面図(ダム上流地区)

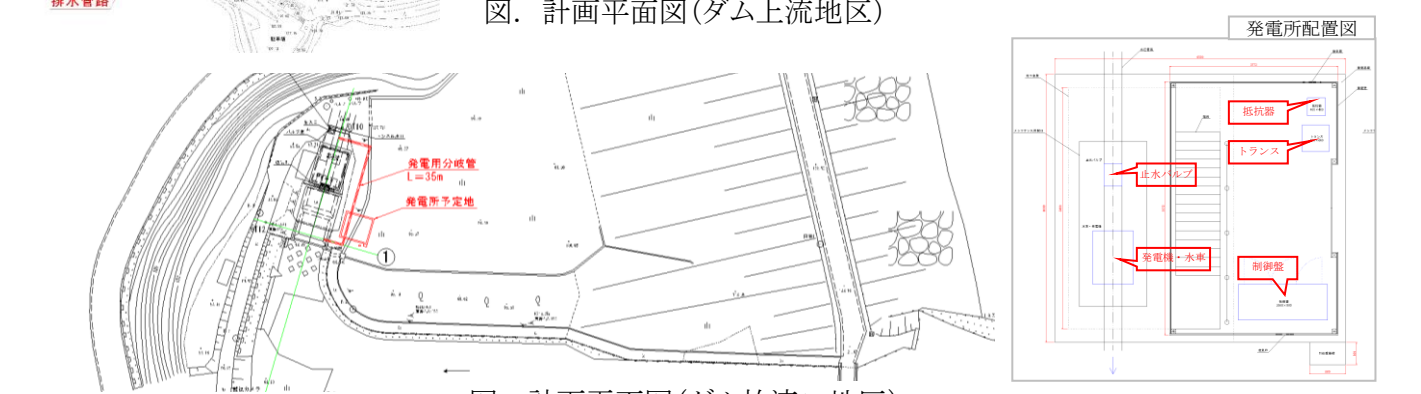


図. 計画平面図(ダム放流口地区)



図. 計画平面図(梯地区)

5. 事業スケジュール

調査内容	H30 年度(実績)	H31 年度(計画)	H32 年度(計画)
流量調査	■	■	
地形調査	■		
地質調査	■		
概略設計・資料作成		■	■
事業性評価			■
事業者公募・選定			■